

「巣ごもり消費」脚光

「巣ごもり消費」への関心が高まっている。連日、新型コロナウイルスの感染拡大が報じられ、各地でイベントの延期、中止が相次いでいる。消費者心理は悪化し、外出を控える動きも目立ってきており、小売企業や外食企業には実態業績への大きな影響が懸念されている。株式市場でも「巣ごもり消費」に関心が高まっており、Eコマース（電子商取引）など、家に居ながらのショッピングや、ネットなどを活用してエンターテインメントを楽しむもので、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に需要を伸ばしていくことが期待されている。

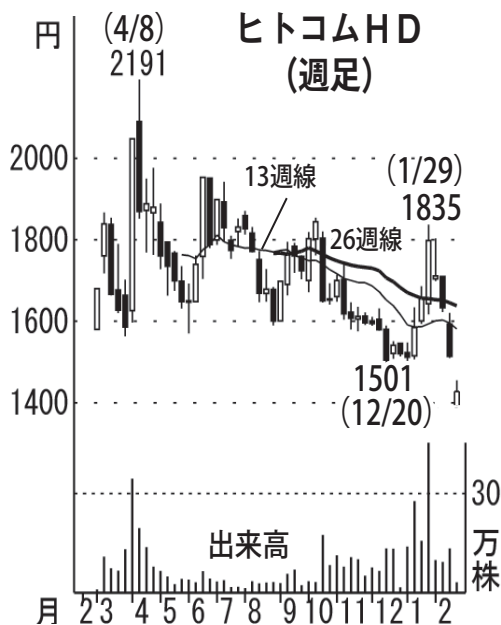
家に居ながらショッピングが楽しめるEコマースは市場が継続的に拡大。新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される情勢下では、不特定多数の人が利用する商業施設、ショッピングモールなどへの外出を控える消費者が増えることが考えられ、一時的にEコマース市場の成長速度が速まる可能性がある。



イメージ写真提供：123RF

Eコマース、ネット配信の成長加速も

ヒトコムHD、Amazonaなど有望



Eコマース関連銘柄では、米アマゾンやZホールディングス(4689)、楽天(4755)といったビッグプレイヤーのほかに、Eコマースショップの支援ビジネスを手掛ける企業に成長期待が大きい。Eコマース市場自体の成長に伴い、各社が独自のEコマースショップを設立、強化するモールド離れも起きている。ヒト・コミュニケーションズ(3690)あたりが有望銘柄。

ファッション・スポーツ領域を中心にフルフィルメントでの運営受託に注力し、利益率の高い新規Eコマースサイトの立ち上げが好調に推移する。また、食品や越境Eコマースなどの分野にも領域を広げている。連結業績も好調で、株価指標などからみても買い安心感がある。

BASEは昨今10月上場のニューフェースで、小規模事業者向けEコマースプラットフォームを手掛ける。足元の業績はまだ赤字だが、成長性への期待が大きな銘柄だ。

また、ライブストリーミング技術のJストリーム(4308・M)が急騰。現地に赴かなくてもイベントなどの内容を知らることができ、需要が高まっていくことが期待されている。この分野ではビデオリリース分野に力を入れているベクトル(6058)あたりも注目できそうだ。エンタメコンテンツでは、市場が高成長する電子コミックでAmazona(4424・M)やLink-U(4446・M)が有望で、コンテンツ分野ではGポート(3791・JQ)や東映アニメーション(4816・JQ)など、有力IP(知的財産)を有する企業が有利そうだ。

また、ライブストリーミング技術のJストリーム(4308・M)が急騰。現地に赴かなくてもイベントなどの内容を知らることができ、需要が高まっていくことが期待されている。この分野ではビデオリリース分野に力を入れているベクトル(6058)あたりも注目できそうだ。エンタメコンテンツでは、市場が高成長する電子コミックでAmazona(4424・M)やLink-U(4446・M)が有望で、コンテンツ分野ではGポート(3791・JQ)や東映アニメーション(4816・JQ)など、有力IP(知的財産)を有する企業が有利そうだ。